

令和 7 (2025) 年度国際共同研究加速基金（国際共同研究強化、 帰国発展研究、国際先導研究）の審査に係る総括

1. 審査全体の総括

科学研究費助成事業（以下「科研費」という。）は、人文学、社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」（研究者の自由な発想に基づく研究）を格段に発展させることを目的とする「競争的研究費」であり、ピアレビュー（研究者コミュニティから選ばれた研究者による審査）により、豊かな社会発展の基盤となる独創的・先駆的な研究に対する助成を行うものである。

令和 7 (2025) 年度の国際共同研究加速基金各研究種目に係る公募については、「電子申請システム」を活用し応募書類の受付を行い、審査については、科学研究費委員会（別紙 1 - 1）に置かれる国際科学研究費第一・第二部会において、「科学研究費助成事業における審査及び評価に関する規程」（独立行政法人日本学術振興会科学研究費委員会決定）に基づき、延べ 265 名の審査委員によるピアレビューを実施した。審査は、研究種目の目的や趣旨に即した審査プロセスや方法を構築し、多様な応募研究計画に対応できる審査体制を整備して適切に行われた。また、交付内定日と同日に審査結果を通知した。

2. 各研究種目の審査実績

令和 7 年度は、503 件の応募の中から 145 件を新規に採択した。各研究種目の審査結果（詳細は別紙 3 を参照）、審査実績及び審査委員から寄せられた主な意見は以下のとおりである。

【審査結果】

研究種目	応募件数	採択件数
国際共同研究強化※	341	113
帰国発展研究※	108	27
国際先導研究	54	5
合 計	503	145

※応募件数が多数となったため、審査区分を分割して複数の小委員会を設けて審査を行った。

【各研究種目の審査実績及び審査委員から寄せられた主な意見】

○国際共同研究強化

本種目は、科研費採択者が現在実施している研究計画において国際共同研究を行うことでその研究計画を格段に発展させ、優れた研究成果を上げることがを目的とし、その結果、国際的に活躍できる、独立した研究者の養成にも資することを旨とするものである。国際共同研究の意義・必要性、研究方法の妥当性、研究遂行能力及び研究環境の適切性のほか、種目の趣旨・対象と研究計画の合致性を重視した審査を行い、応募額を最大限尊重した配分を行った。

審査委員からは、「基盤研究」の研究計画を実施中の研究者による応募課題と「特別研究員奨励費」の研究計画を実施中の特別研究員による応募課題とを同じ基準で審査するのは、キャリアや研究業績に差があるため難しいといった意見があった。

○帰国発展研究

本種目は、海外の研究機関等において優れた研究実績を有する独立した研究者が、日本を主たる拠点として独創的・先駆的な研究を格段に発展させるため、帰国後すぐに研究を開始できるように研究費を支援するものである。審査に当たっては、研究課題の学術的重要性、研究方法の妥当性、研究遂行能力のほか、応募者が海外で優れた研究実績を有する独立した研究者であることや、帰国後に研究室を主宰し、外国人研究者との連携等により日本の研究活動の活性化に資することが期待されることなど、帰国発展研究としての妥当性を重視した審査を行った。

審査委員からは、若手の応募者はフェローシップ以外に獲得した研究費の実績が少ないほか、在外期間も短いため、シニア層と同じ基準で審査するのは難しいという意見や、帰国後に外国人研究者との連携等により日本の研究活動の活性化に資することも本種目の趣旨であることから、帰国後に海外での経験や実績を日本の研究活動の活性化にどのように活かす予定かについても、研究計画調書に明示的に記載するよう応募者に求めてはどうかといった意見があった。

○国際先導研究

本種目は、若手研究者の人材育成計画を含む大規模・長期間の優れた国際共同研究を支援するため、令和3(2021)年度に国際共同研究加速基金の中に創設された研究種目である。審査に当たっては、国際共同研究の意義・必要性、研究課題の学術的重要性・妥当性、研究方法の妥当性、研究遂行能力及び研究環境の適切性、人材育成の適切性、研究機関の支援及び研究機関への還元方策の有効性の観点から審査を行い、応募額を最大限尊重した配分を行った。

審査委員からは、多くの応募課題で優れた人材育成計画が盛り込まれていた一方で、サポート体制の実情や若手研究者の選抜方針等の説明が不十分な部分も見られたという意見があった。

【審査における多様性の確保】

審査委員については、日本学術振興会学術システム研究センターの複数の研究員が、審査委員候補データベースに登録されている研究者の中から、専門分野ごとに作成した候補者案を基に日本学術振興会が選考している。候補者案の作成にあたっては、学術分野に精通し公正で十分な評価能力を有する者を選考するとともに、国際的な視野を持つ者であることにも配慮した。

また、審査委員の多様性に配慮する観点から、女性研究者等の積極的な登用に努め、所属研究機関のバランスなどにも配慮した審査体制としたことに加え、国際先導研究においては海外の研究者による専門的な立場からの意見も活用するなど、多様でより広い評価の視点を確保した。

なお、令和7年度国際共同研究加速基金の審査における女性審査委員は延べ67名であった。(詳細

は別紙1－2を参照)

3. 今後の審査に向けて

学術研究は、研究者同士が建設的に評価・審査しあうピアレビューのシステムにより発展してきた。科研費のピアレビューをより一層充実させるためにも、審査委員からの様々な意見だけでなく、審査の検証及び検証によって蓄積された情報も適切に反映・活用し、さらに公正で透明性の高い審査・評価システムとなるよう引き続き改善に取り組む必要がある。

優れた研究課題を採択する上で、審査委員の多様性は極めて重要であることから、総合審査における合議審査の場などの活用により審査委員の育成を進めていくとともに、引き続き女性研究者、審査委員未経験者及び若手研究者の審査委員への登用に努める。

また、日本学術振興会では、「科学研究費助成事業の合議審査の開催方式に係る基本方針について」において、当面の間「Web会議形式」による合議審査を基本とすることを決定している。審査資料の電子化を進めるとともに、今後も審査業務のデジタル・トランスフォーメーション(DX)等により、業務効率化を一層推進していく必要がある。

参 考 資 料

(別紙 1 - 1) 科学研究費委員会組織図

(別紙 1 - 2) 令和 7 (2025) 年度
国際共同研究加速基金の審査における審査委員の状況

(別紙 2) 研究種目別の公募・審査の状況

(別紙 3) 令和 7 (2025) 年度科学研究費助成事業の審査結果

(別紙 4) 研究種目別の応募件数・採択件数の推移

(別紙 5) 分野別応募・採択等の状況

(別紙 6) 国際共同研究強化 基課題別の応募・採択等の状況

(別紙 7) 研究機関種別の応募・採択等の状況

(別紙 8) 職種別の応募・採択等の状況

(別紙 9) 男女別の応募・採択等の状況

(別紙 10) 年齢別の応募・採択等の状況

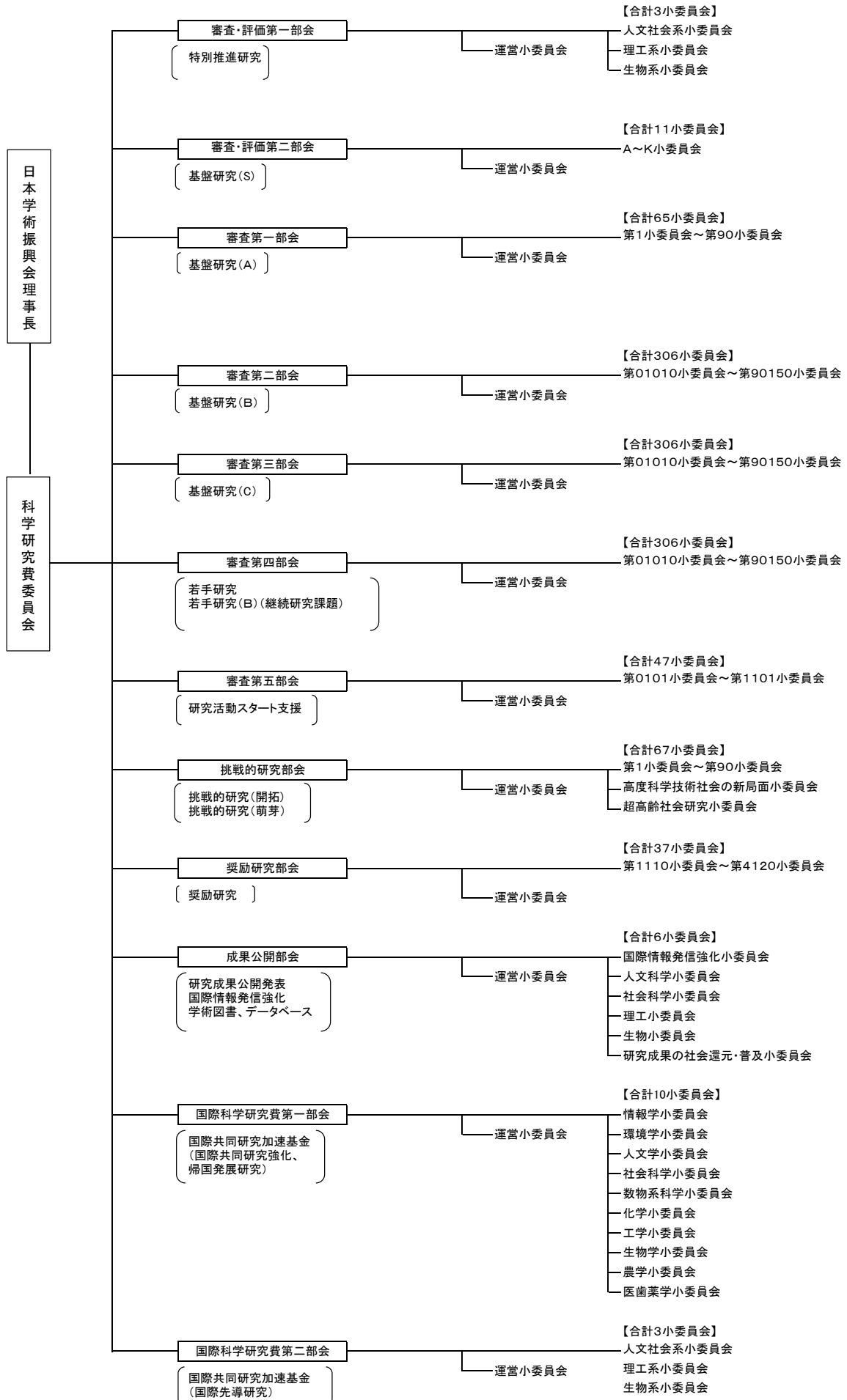
注 1) 別紙 3 及び別紙 5 ~ 10 に記載の配分額は直接経費の配分額を指す。

注 2) 別紙 7 ~ 10 について、科研費の審査（ピアレビュー）に当たっては研究者の属性等を考慮した審査は行っていないが、審査結果の参考として集計したもの。

科学研究費委員会組織図

別紙1-1

【小委員会合計: 1, 167小委員会(分割及び合同は含まない)】



○令和7(2025)年度 国際共同研究加速基金の審査における審査委員の状況

機関区分	審査委員数	うち女性	全体に占める女性の割合
国立大学	165	37	22.4%
公立大学	12	5	41.7%
私立大学	53	21	39.6%
その他	35	4	11.4%
合計	265	67	25.3%

研究種目ごとの公募・審査の状況

○公募

応募書類は、「電子申請システム」を活用して研究種目ごとに受付を行った。

研究種目	公募期間
国際共同研究強化、帰国発展研究	令和 7 (2025) 年 7 月 14 日～9 月 17 日
国際先導研究	令和 7 (2025) 年 1 月 9 日～3 月 14 日

○審査

「科学研究費助成事業における審査及び評価に関する規程」に基づき、上記種目について延べ 265 名の審査委員により審査を実施した。

(1) 国際共同研究強化

審査組織	国際科学研究費第一部会に置かれる審査希望分野毎の 15 小委員会（審査委員数 118 名（以下同じ。））	
審査方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 審査方式：総合審査（書面審査及び合議審査） ・ 審査区分：審査希望分野（10 分野）（審査委員 7～8 名） ・ 書面審査及び合議審査を行い、採択研究課題を決定 	
審査の経過	令和 7 (2025) 年 10 月 3 日～11 月 11 日 （令和 7 (2025) 年 12 月 16 日 以降開催の小委員会については 令和 7 (2025) 年 10 月 3 日 ～11 月 18 日）	書面審査
	令和 7 (2025) 年 12 月 4 日～ 令和 8 (2026) 年 1 月 30 日	合議審査（採択研究課題の決定）

(2) 帰国発展研究

審査組織	国際科学研究費第一部会に置かれる審査希望分野毎の 11 小委員会（87 名）及び運営小委員会（20 名）	
審査方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 審査方式：総合審査（書面審査及び合議審査） ・ 審査区分：審査希望分野（10 分野）（審査委員 7～8 名） ・ 書面審査及び合議審査を行い、採択研究課題を決定 	
審査の経過	令和 7 (2025) 年 10 月 3 日～11 月 11 日 （令和 7 (2025) 年 12 月 16 日 以降開催の小委員会については 令和 7 (2025) 年 10 月 3 日	書面審査

	～11月18日)	
	令和7(2025)年12月4日～ 令和8(2026)年1月30日	合議審査を実施(採択研究課題、採択候補研究課題を決定)
	令和8(2026)年2月6日	運営小委員会(各小委員会の審査結果を踏まえ、採択研究課題を決定)

(3) 国際先導研究

審査組織	国際科学研究費第二部に置かれる専門分野ごとの3小委員会(32名)及び運営小委員会(8名)	
審査方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 審査方式: 総合審査(書面審査及び合議審査) ・ 審査区分: 「人文社会系」、「理工系」及び「生物系」(審査委員8名～14名) ・ 事前の選考[各小委員会に属する審査委員のうち3～4名が研究計画調書(概要版)を用いて採択候補研究課題を絞り込む。(応募件数が少ない審査区分においては事前の選考は実施しない。)] ・ 審査意見書(応募研究課題と専門分野が近い国内の研究者各3名程度が作成)、海外レビュー(応募研究課題と専門分野が近い海外の研究者各3名程度が作成)も活用し、書面審査及びヒアリング研究課題を選定する合議審査を実施 <p>研究計画調書をもとに、書面審査の内容・第1回合議審査の内容・ヒアリング等の内容を総合的に判断し、合議により採択研究課題を決定</p>	
審査の経過	令和7(2025)年4月1日～23日	事前の選考
	令和7(2025)年6月～7月	審査意見書作成者が審査意見書を作成 海外レビューが海外レビューを実施
	令和7(2025)年7月1日～8月22日	書面審査
	令和7(2025)年9月8日～24日	第1回合議審査(ヒアリング研究課題の選定)
	令和7(2025)年10月2日～11月5日	第2回合議審査(ヒアリングの実施、採択候補研究課題の選定)
	令和7(2025)年11月17日	運営小委員会(各小委員会の審査結果を踏まえ、採択研究課題を決定)

令和7(2025)年度科研費助成事業「国際共同研究加速基金」の審査結果

令和7(2025)年3月現在

研究種目	研究課題数		採択率(%)	配分額 (千円)	1課題当たりの配分額(千円)	
	応募(件)	採択(件)			平均	最高
国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化)	[293]	[97]	[33.1]	[1,065,000]	[10,979]	[12,000]
	341	113	33.1	1,259,900 【 377,970 】	11,150	11,800

研究種目	研究課題数		採択率(%)	配分額 (千円)	1課題当たりの配分額(千円)	
	応募(件)	採択(件)			平均	最高
国際共同研究加速基金 (帰国発展研究)	[42]	[12]	[28.6]	[499,100]	[41,592]	[45,100]
	108	27	25.0	1,120,200 【 336,060 】	41,489	46,500

研究種目	研究課題数		採択率(%)	配分額 (千円)	1課題当たりの配分額(千円)	
	応募(件)	採択(件)			平均	最高
国際共同研究加速基金 (国際先導研究)	[51]	[5]	[9.8]	[2,647,200]	[529,440]	[530,000]
	54	5	9.3	2,648,700 【 794,610 】	529,740	530,000

(注1) 【 】内は、間接経費(外数)。

(注2) []内は、前年度実績を示す。

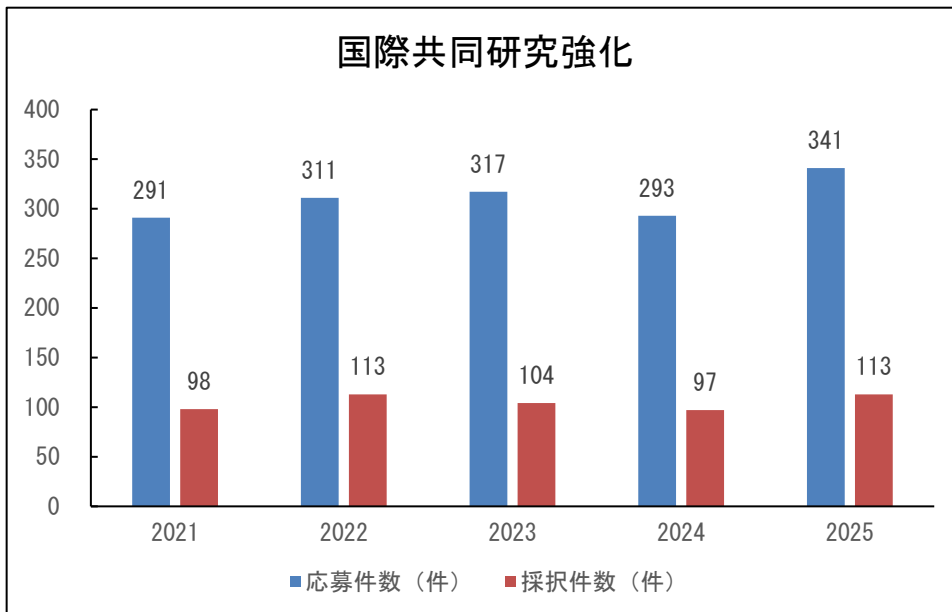
(注3) 「配分額」欄及び「1課題当たりの配分額」欄には研究期間全体の配分額を計上。

(注4) 国際先導研究の「配分額」には、研究環境を確保するための経費を含む。

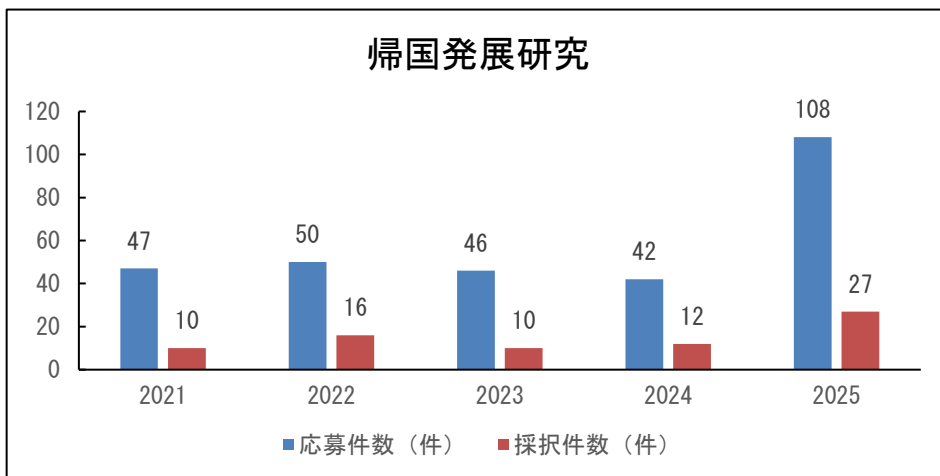
研究種目別の応募件数・採択件数の推移

○応募件数・採択件数の推移（直近5年間）

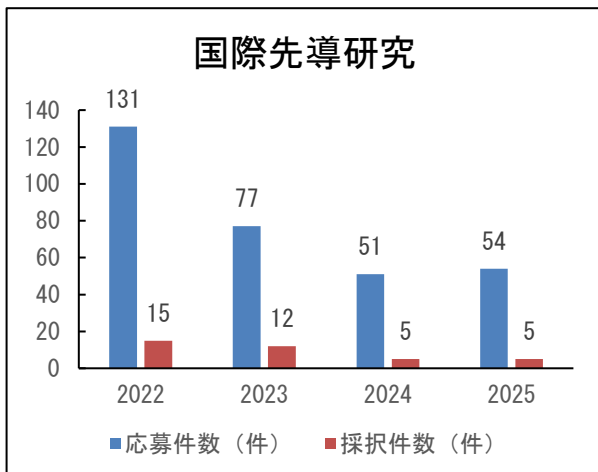
(1) 国際共同研究強化



(2) 帰国発展研究



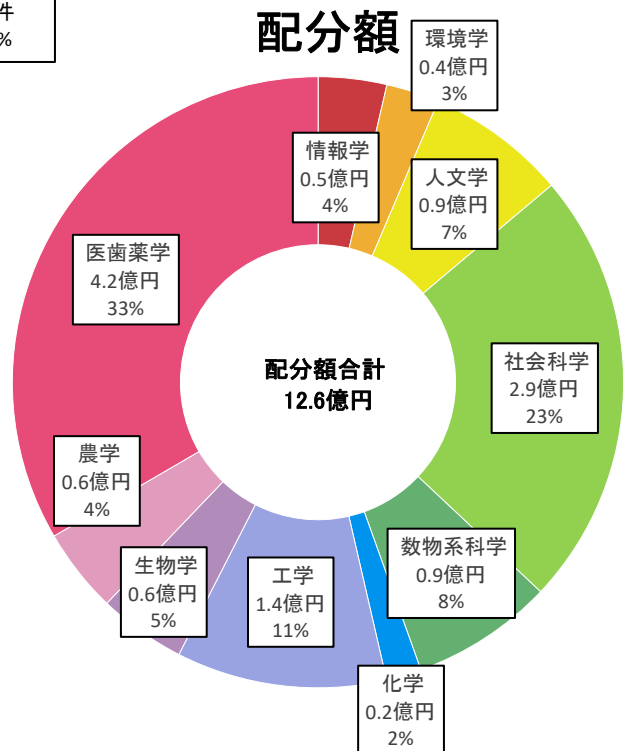
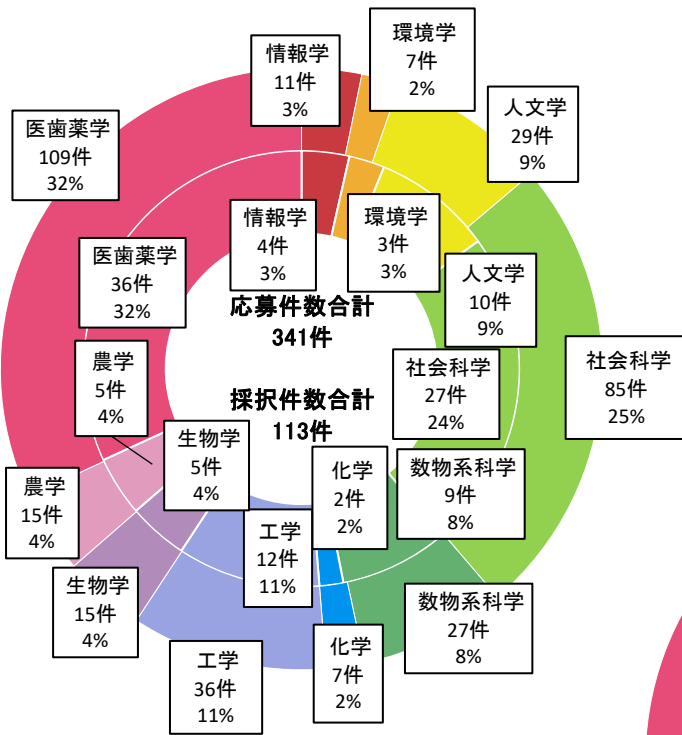
(3) 国際先導研究



分野別の応募・採択等の状況

国際共同研究強化

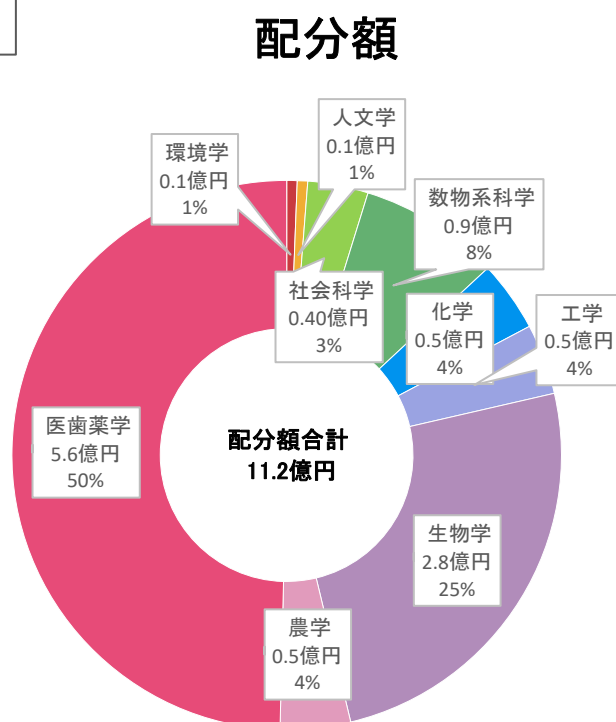
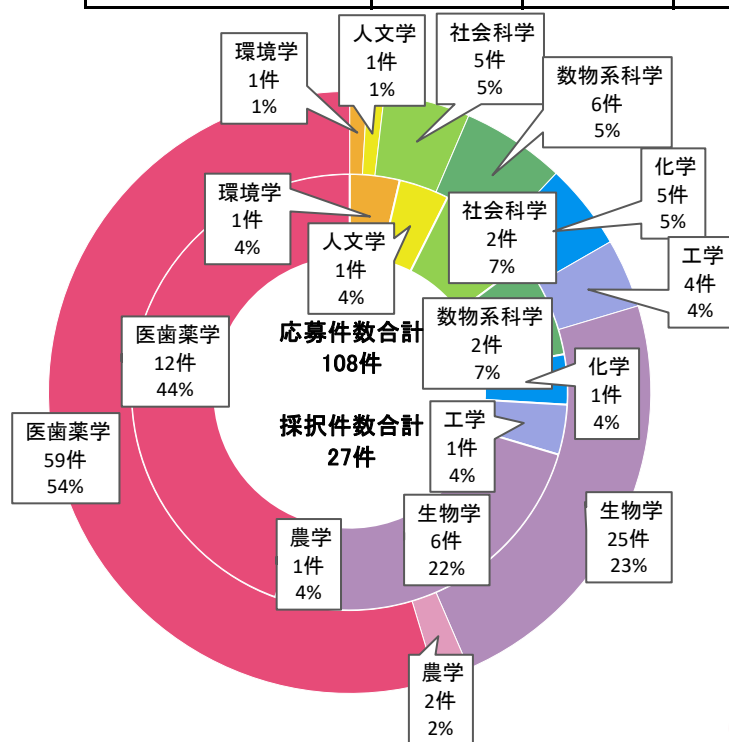
区分	応募件数	採択件数	採択率	配分額(千円)	平均配分額(千円)
情報学	11	4	36.4%	45,700	11,425
環境学	7	3	42.9%	35,400	11,800
人文学	29	10	34.5%	93,300	9,330
社会科学	85	27	31.8%	292,000	10,815
数物系科学	27	9	33.3%	94,600	10,511
化学	7	2	28.6%	23,600	11,800
工学	36	12	33.3%	140,100	11,675
生物学	15	5	33.3%	58,100	11,620
農学	15	5	33.3%	56,400	11,280
医歯薬学	109	36	33.0%	420,700	11,686
合計	341	113	33.1%	1,259,900	11,150



※円グラフに表示されている割合・値については、四捨五入のために、合計が100%や合計値にならないことがある。

帰国発展研究

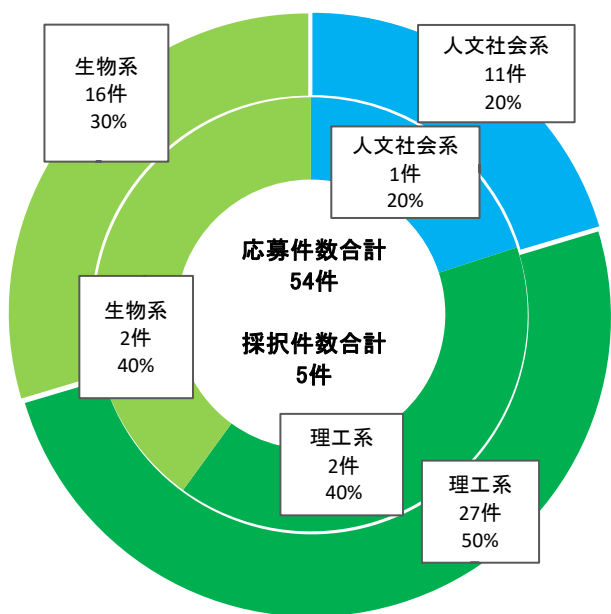
区分	応募件数	採択件数	採択率	配分額(千円)	平均配分額(千円)
情報学	0	0	0%	0	0
環境学	1	1	100.0%	6,900	6,900
人文学	1	1	100.0%	6,800	6,800
社会科学	5	2	40.0%	40,000	20,000
数物系科学	6	2	33.3%	92,900	46,450
化学	5	1	20.0%	46,500	46,500
工学	4	1	25.0%	46,500	46,500
生物学	25	6	24.0%	278,400	46,400
農学	2	1	50%	46,500	46,500
医歯薬学	59	12	20.3%	555,700	46,308
合計	108	27	25.0%	1,120,200	41,489



※円グラフに表示されている割合・値については、四捨五入のために、合計が100%や合計値にならないことがある。
 ※応募件数・採択件数が双方ともにゼロ件の区分については、ラベルを削除している。

国際先導研究

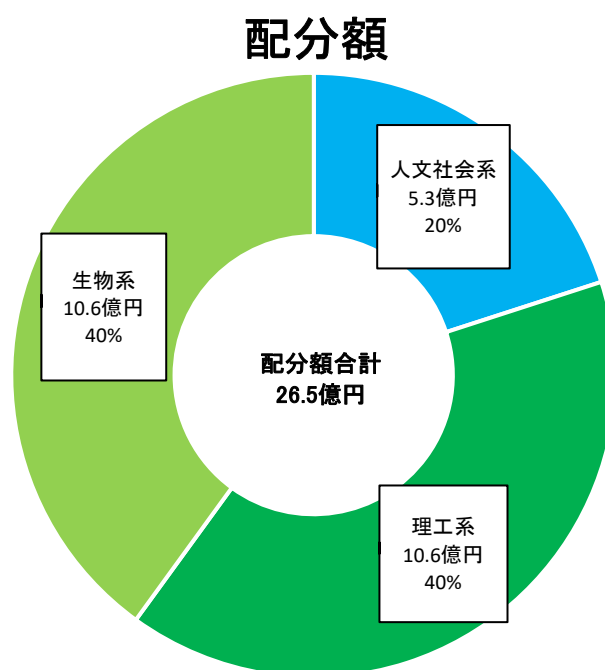
区分	応募件数	採択件数	採択率	配分額(千円)	平均配分額(千円)
人文社会系	11	1	9.1%	529,600	529,600
理工系	27	2	7.4%	1,059,700	529,850
生物系	16	2	12.5%	1,059,400	529,700
合計	54	5	9.3%	2,648,700	529,740



応募・採択件数

※外円は応募件数、内円は採択件数

■ 人文社会系 ■ 理工系 ■ 生物系

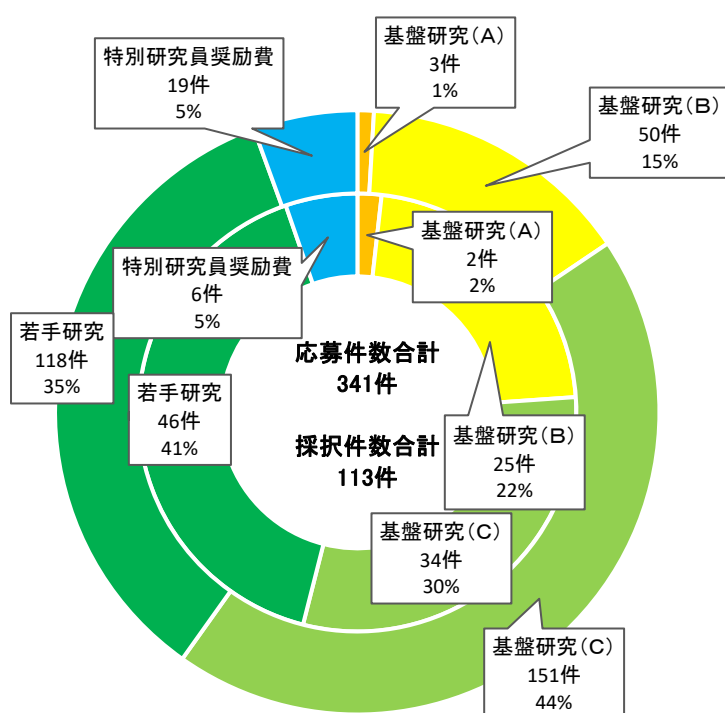


※円グラフに表示されている割合・値については、四捨五入のために、合計が100%や合計値にならないことがある。

基課題別の応募・採択等の状況

※対象:「国際共同研究強化」のみ

区分	応募件数	採択件数	採択率	配分額(千円)	平均配分額(千円)
基盤研究(S)	0	0	0%	0	0
基盤研究(A)	3	2	67%	23,600	11,800
基盤研究(B)	50	25	50%	273,800	10,952
基盤研究(C)	151	34	23%	380,000	11,176
若手研究	118	46	39%	512,700	11,146
特別研究員奨励費	19	6	32%	69,800	11,633
合計	341	113	33.1%	1,259,900	11,150

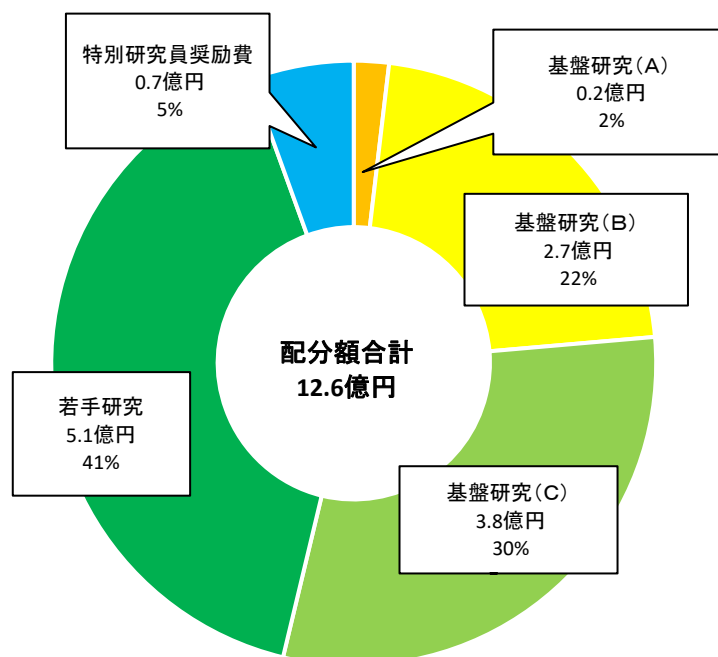


応募・採択件数

※外円は応募件数、内円は採択件数

- 基盤研究(A)
- 基盤研究(B)
- 基盤研究(C)
- 若手研究
- 特別研究員奨励費

配分額



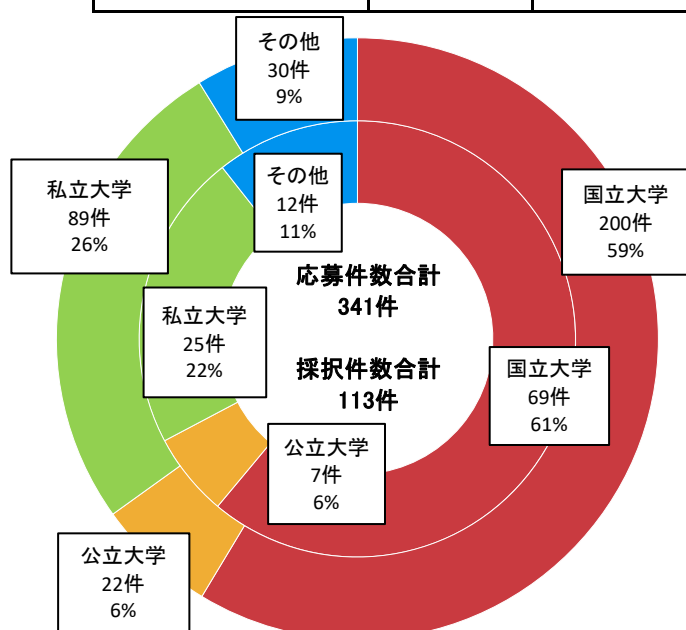
※円グラフに表示されている割合・値については、四捨五入のために、合計が100%や合計値にならないことがある。

研究機関種別の応募・採択等の状況

※帰国発展研究は海外機関に所属している研究者を対象としており、分類が困難であるため省略。

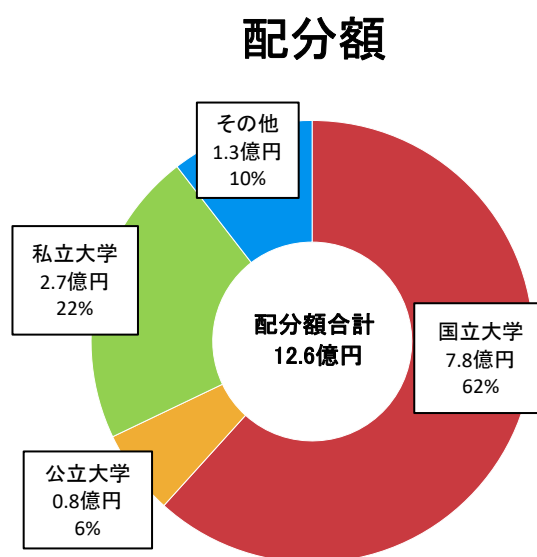
国際共同研究強化

区分	応募件数	採択件数	採択率	配分額(千円)	平均配分額(千円)
国立大学	200	69	34.5%	777,300	11,265
公立大学	22	7	31.8%	78,200	11,171
私立大学	89	25	28.1%	272,500	10,900
その他	30	12	40.0%	131,900	10,992
短期大学、 高等専門学校	1	0	0%	0	0
大学共同利用機関法人	4	3	75%	29,800	9,933
国公立試験研究機関	2	1	50.0%	11,800	11,800
特殊法人、 独立行政法人等	20	7	35.0%	80,000	11,429
一般社団法人、 一般財団法人	1	0	0%	0	0
企業等の研究所	2	1	50%	10,300	10,300
合計	341	113	33.1%	1,259,900	11,150



応募・採択件数

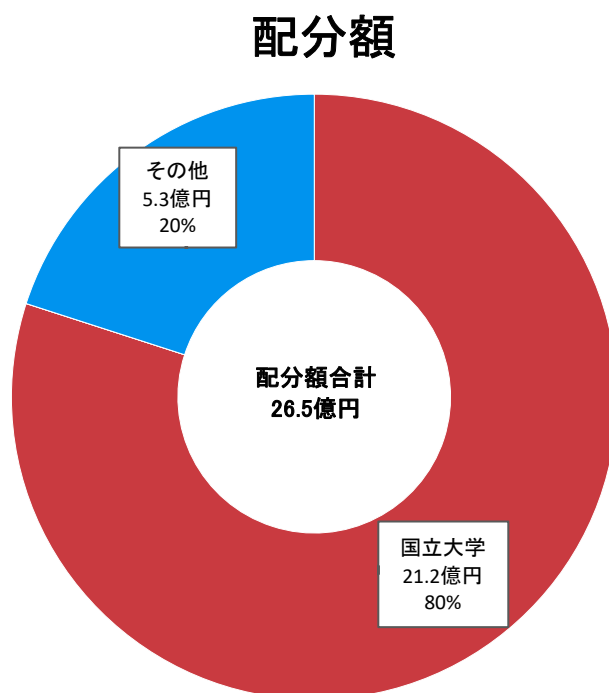
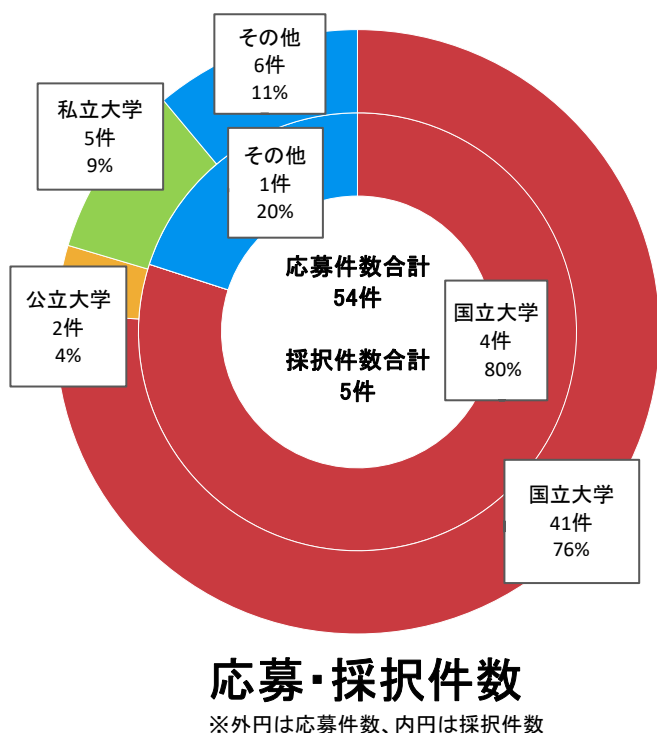
※外円は応募件数、内円は採択件数



※円グラフに表示されている割合・値については、四捨五入のために、合計が100%や合計値にならないことがある。

国際先導研究

区分	応募件数	採択件数	採択率	配分額(千円)	平均配分額(千円)
国立大学	41	4	9.8%	2,118,700	529,675
公立大学	2	0	0.0%	0	0
私立大学	5	0	0.0%	0	0
その他	6	1	16.7%	530,000	530,000
短期大学、 高等専門学校	0	0	0.0%	0	0
大学共同利用機関法	2	1	50.0%	530,000	530,000
国公立試験研究機関	3	0	0.0%	0	0
特殊法人、 独立行政法人等	0	0	0%	0	0
一般社団法人、 一般財団法人	1	0	0.0%	0	0
企業等の研究所	0	0	0%	0	0
合計	54	5	9.3%	2,648,700	529,740

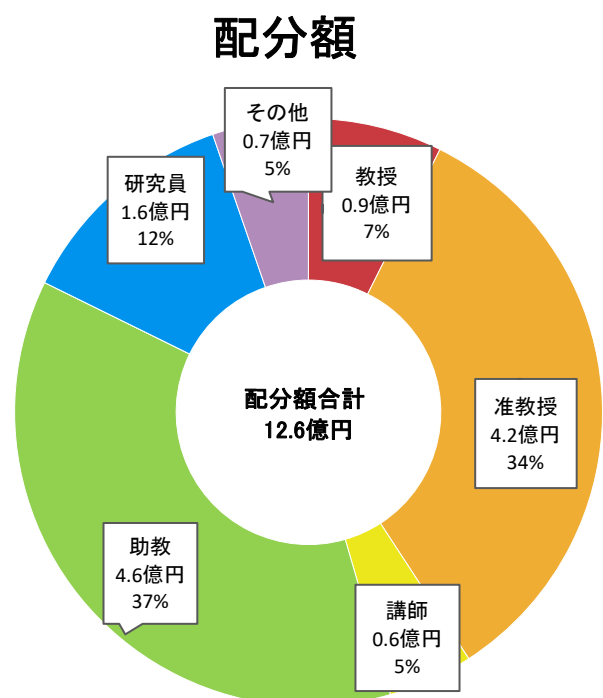
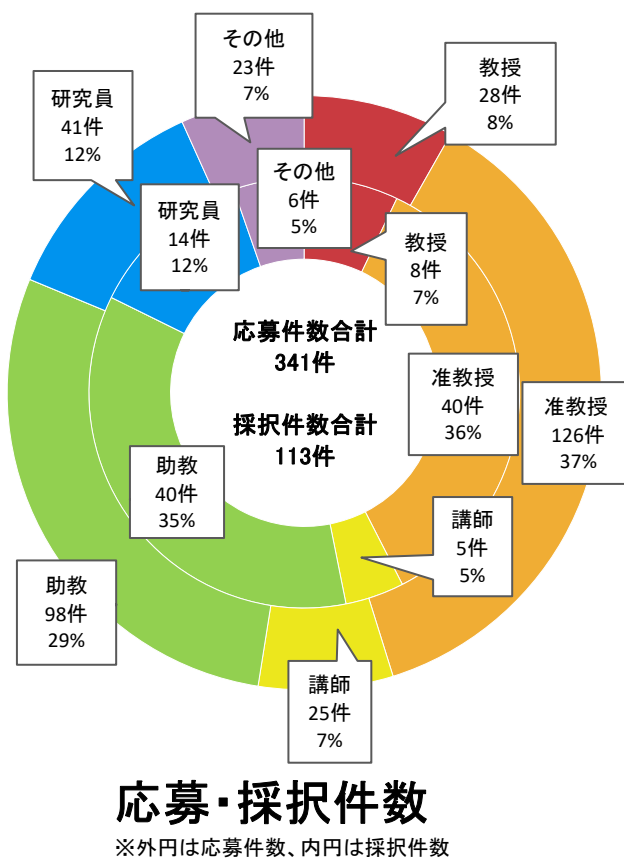


※円グラフに表示されている割合・値については、四捨五入のために、合計が100%や合計値にならないことがある。
 ※採択件数がゼロ件の区分については、ラベルを削除している。

職種別の応募・採択等の状況

国際共同研究強化

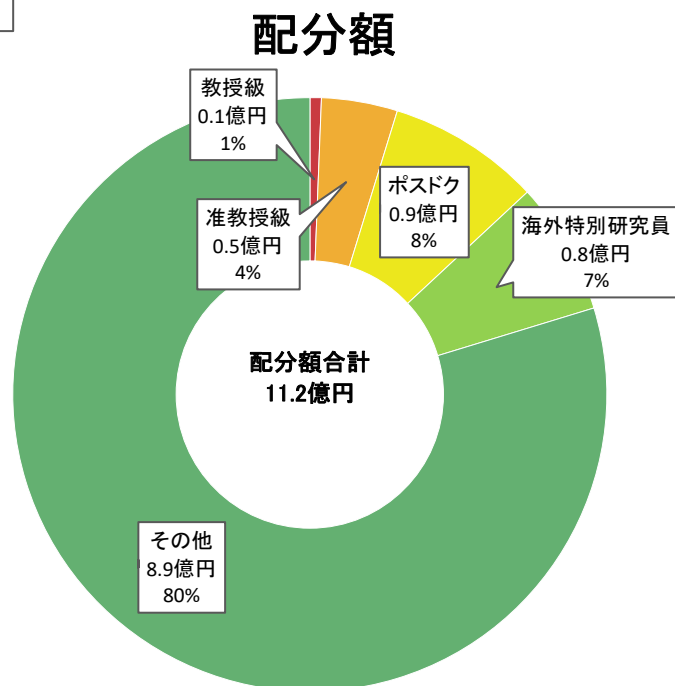
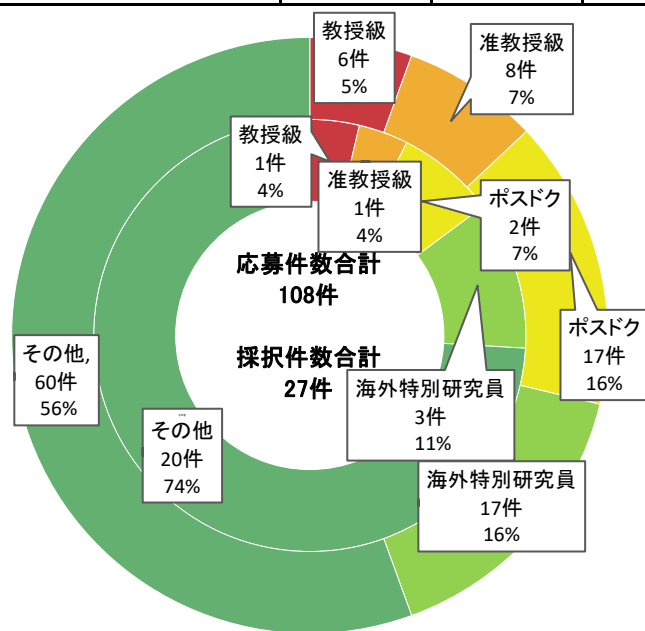
区分	応募件数	採択件数	採択率	配分額(千円)	平均配分額(千円)
教授	28	8	28.6%	92,900	11,613
准教授	126	40	31.7%	421,500	10,538
講師	25	5	20.0%	58,900	11,780
助教	98	40	40.8%	463,200	11,580
助手	0	0	0%	0	0
研究員	41	14	34.1%	156,800	11,200
名誉教授	0	0	0%	0	0
その他	23	6	26.1%	66,600	11,100
合計	341	113	33.1%	1,259,900	11,150



※円グラフに表示されている割合・値については、四捨五入のために、合計が100%や合計値にならないことがある。

帰国発展研究

区分(※1)	応募件数	採択件数	採択率	配分額(千円)	平均配分額(千円)
教授級	6	1	16.7%	6,900	6,900
准教授級	8	1	12.5%	46,500	46,500
ポスドク	17	2	11.8%	93,000	46,500
海外特別研究員	17	3	17.6%	81,000	27,000
その他	60	20	33.3%	892,800	44,640
合計	108	27	25.0%	1,120,200	41,489

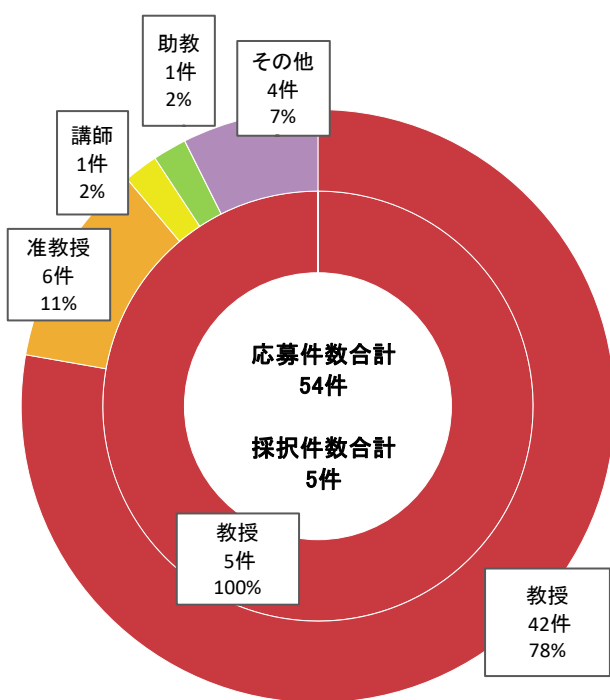


※1 本種目は海外の研究機関に所属している研究者を対象としており、日本国内機関とは異なる職位が存在するため、便宜上、下記の凡例に分類し、集計を行った。

「教授級」= 職名に「教授」または「Professor」を含む者
 「准教授級」= 「准教授」、「副教授」、「Associate Professor」、「Senior Lecturer」である者、自ら「准教授級」とした者
 「ポスドク」= 職名に「博士」、「Postdoctoral」を含む者
 「その他」= 上記のいずれにも当てはまらない者
 (例: 「Assistant Professor」、「Group Leader」、「Instructor」、「Research Associate」、「Staff Scientist」等)

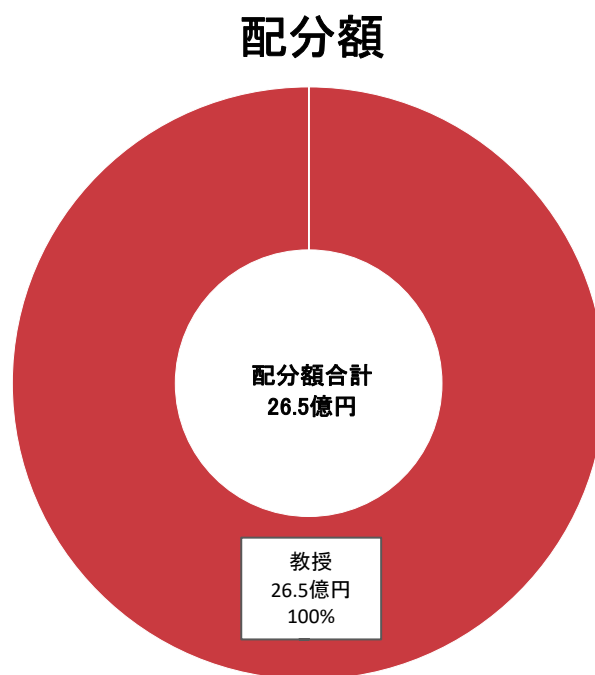
※2 円グラフに表示されている割合・値については、四捨五入のために、合計が100%や合計値にならないことがある。

区分	応募件数	採択件数	採択率	配分額(千円)	平均配分額(千円)
教授	42	5	11.9%	2,648,700	529,740
准教授	6	0	0%	0	0
講師	1	0	0%	0	0
助教	1	0	0%	0	0
助手	0	0	0%	0	0
研究員	0	0	0%	0	0
名誉教授	0	0	0%	0	0
その他	4	0	0%	0	0
合計	54	5	9.3%	2,648,700	529,740



応募・採択件数

※外円は応募件数、内円は採択件数



※円グラフに表示されている割合・値については、四捨五入のために、合計が100%や合計値にならないことがある。
 ※採択件数がゼロ件の区分については、ラベルを削除している。

男女別の応募・採択等の状況

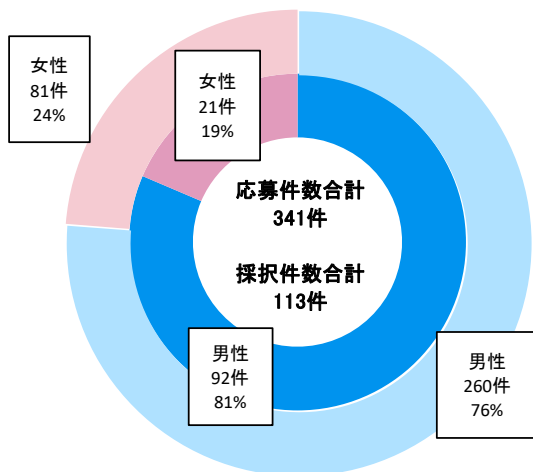
※帰国発展研究はe-rad情報と連携しておらず、集計が困難であるため省略。

国際共同研究強化

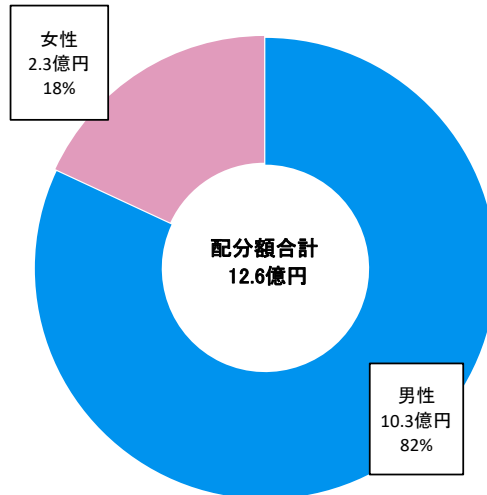
区分	応募件数	採択件数	採択率	配分額(千円)	平均配分額(千円)
男性	260	92	35.4%	1,032,400	11,222
女性	81	21	25.9%	227,500	10,833
合計	341	113	33.1%	1,259,900	11,150

応募・採択件数

※外円は応募件数、内円は採択件数



配分額

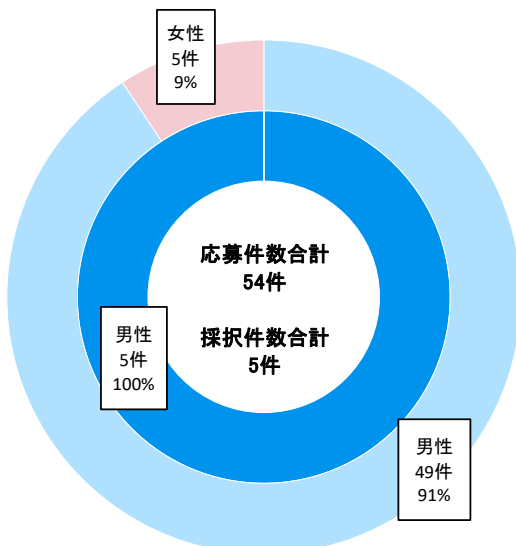


国際先導研究

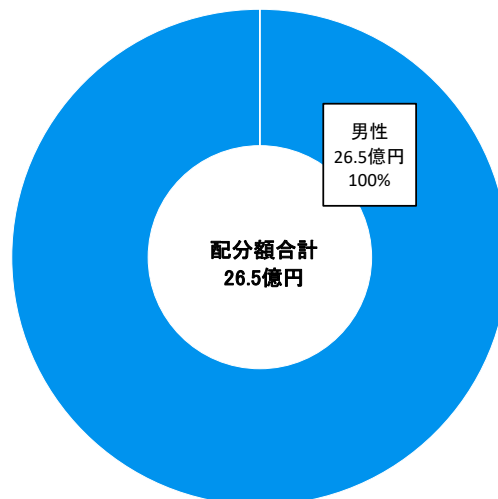
区分	応募件数	採択件数	採択率	配分額(千円)	平均配分額(千円)
男性	49	5	10.2%	2,648,700	529,740
女性	5	0	0.0%	0	0
合計	54	5	9.3%	2,648,700	529,740

応募・採択件数

※外円は応募件数、内円は採択件数



配分額

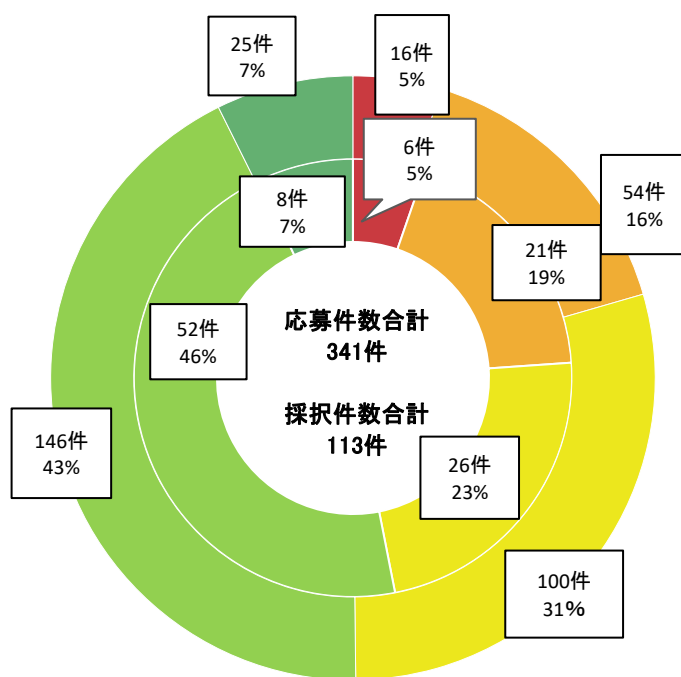


※円グラフに表示されている割合・値については、四捨五入のために、合計が100%や合計値にならないことがある。
 ※採択件数がゼロ件の区分については、ラベルを削除している。

年齢別の応募・採択等の状況

国際共同研究強化

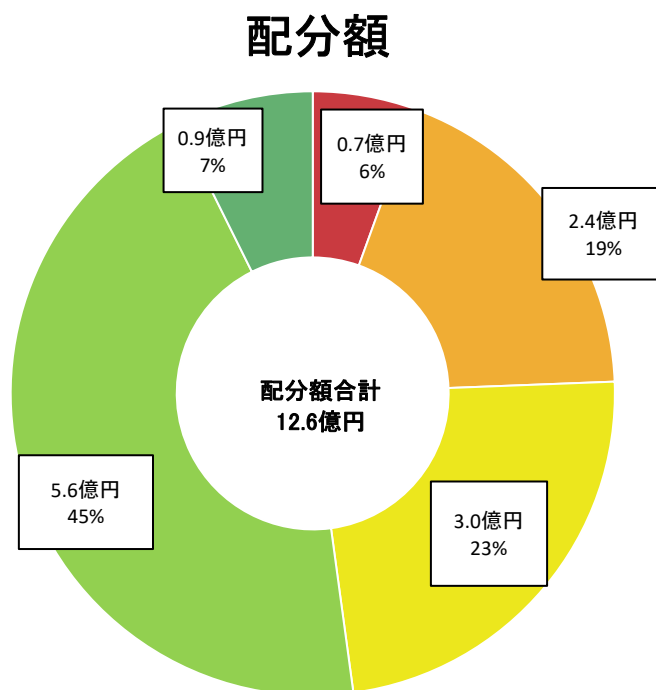
区分	応募件数	採択件数	採択率	配分額(千円)	平均配分額(千円)
30歳未満	16	6	37.5%	69,500	11,583
30歳以上35歳未満	54	21	38.9%	237,600	11,314
35歳以上40歳未満	100	26	26.0%	295,900	11,381
40歳以上45歳未満	146	52	35.6%	564,100	10,848
45歳	25	8	32.0%	92,800	11,600
合計	341	113	33.1%	1,259,900	11,150



応募・採択件数

※外円は応募件数、内円は採択件数

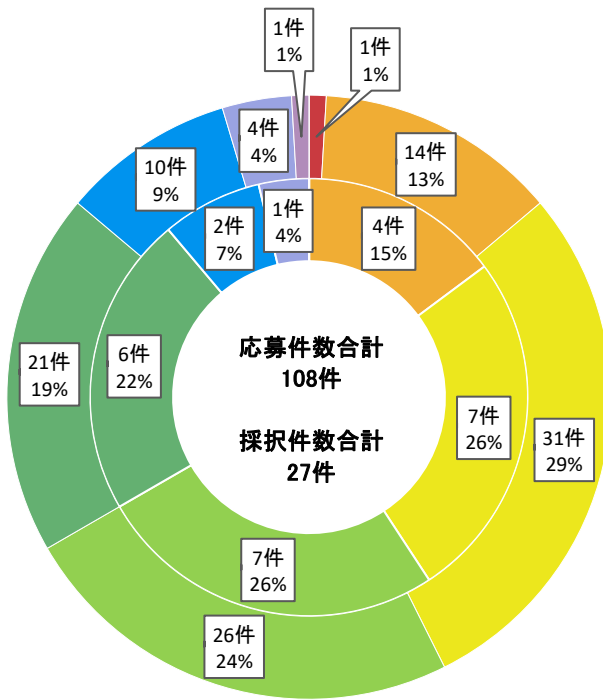
- 30歳未満
- 30歳以上35歳未満
- 35歳以上40歳未満
- 40歳以上45歳未満
- 45歳



※円グラフに表示されている割合・値については、四捨五入のために、合計が100%や合計値にならないことがある。

帰国発展研究

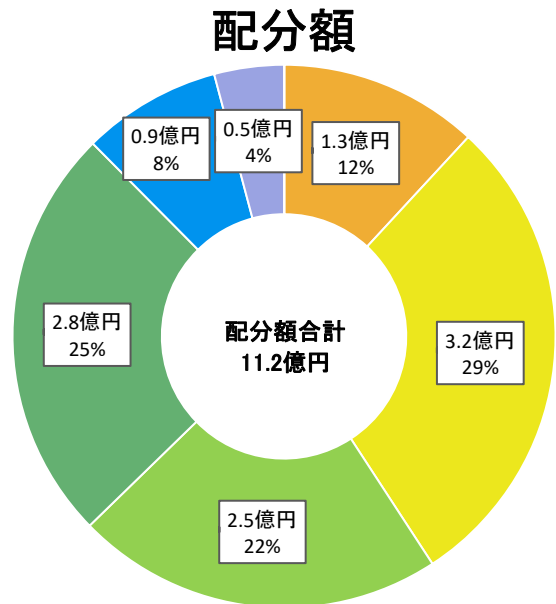
区分	応募件数	採択件数	採択率	配分額(千円)	平均配分額(千円)
30歳未満	1	0	0.0%	0	0
30歳以上35歳未満	14	4	28.6%	133,000	33,250
35歳以上40歳未満	31	7	22.6%	324,000	46,286
40歳以上45歳未満	26	7	26.9%	245,500	35,071
45歳以上50歳未満	21	6	28.6%	278,400	46,400
50歳以上55歳未満	10	2	20%	92,800	46,400
55歳以上60歳未満	4	1	25%	46,500	46,500
60歳以上65歳未満	1	0	0%	0	0
65歳以上70歳未満	0	0	0%	0	0
合計	108	27	25.0%	1,120,200	41,489



応募・採択件数

※外円は応募件数、内円は採択件数

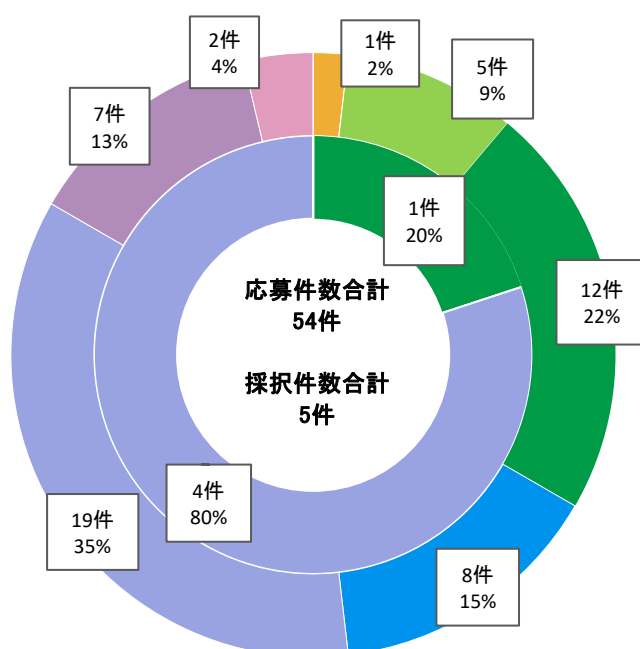
- 30歳未満
- 30歳以上35歳未満
- 35歳以上40歳未満
- 40歳以上45歳未満
- 45歳以上50歳未満
- 50歳以上55歳未満
- 55歳以上60歳未満
- 60歳以上65歳未満



※円グラフに表示されている割合・値については、四捨五入のために、合計が100%や合計値にならないことがある。

国際先導研究

区分	応募件数	採択件数	採択率	配分額(千円)	平均配分額(千円)
30歳未満	0	0	0%	0	0
30歳以上35歳未満	1	0	0%	0	0
35歳以上40歳未満	0	0	0%	0	0
40歳以上45歳未満	5	0	0%	0	0
45歳以上50歳未満	12	1	8%	530,000	530,000
50歳以上55歳未満	8	0	0%	0	0
55歳以上60歳未満	19	4	21%	2,118,700	529,675
60歳以上65歳未満	7	0	0%	0	0
65歳以上70歳未満	2	0	0%	0	0
70歳以上	0	0	0%	0	0
合計	54	5	9.3%	2,648,700	529,740

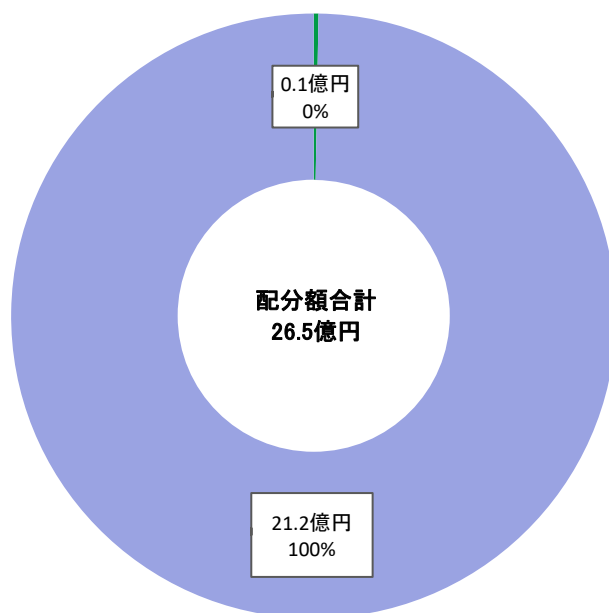


応募・採択件数

※外円は応募件数、内円は採択件数

- 30歳未満
- 30歳以上35歳未満
- 35歳以上40歳未満
- 40歳以上45歳未満
- 45歳以上50歳未満
- 50歳以上55歳未満
- 55歳以上60歳未満
- 60歳以上65歳未満
- 65歳以上70歳未満
- 70歳以上

配分額



※円グラフに表示されている割合・値については、四捨五入のために、合計が100%や合計値にならないことがある。
 ※採択件数がゼロ件の区分については、ラベルを削除している。